

『技能職に関する若者意識調査』 最終報告書

令和5年2月17日 株式会社ウィルパートナーズ

調査概要・回答者属性

調査概要

調査期間：令和4年11月3日（木）～11月5日（土）11:00～20:00

会場：Northport Mall 4F 北ESC前（横浜市都筑区）

令和4年11月14日（月）～11月18日（金）11:00～20:00

会場：新都市プラザ（横浜市西区）

令和4年11月1日（火）～12月18日（日）（横浜市Webサイトでの調査／市内高等学校）

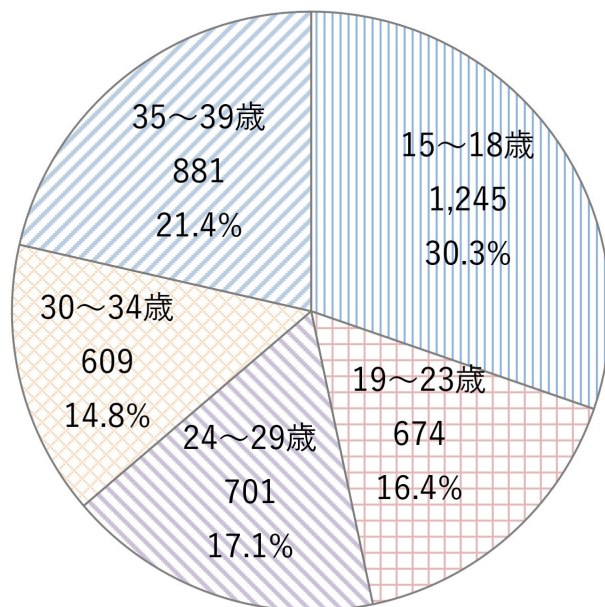
調査内容：技能職に関する若者意識調査

調査対象：15～39歳の若者 回答数：4,110

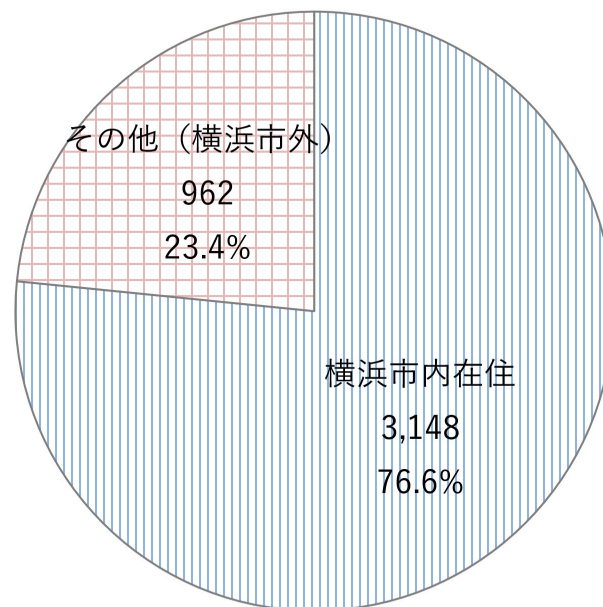
調査方法：Webでの回答

回答者属性

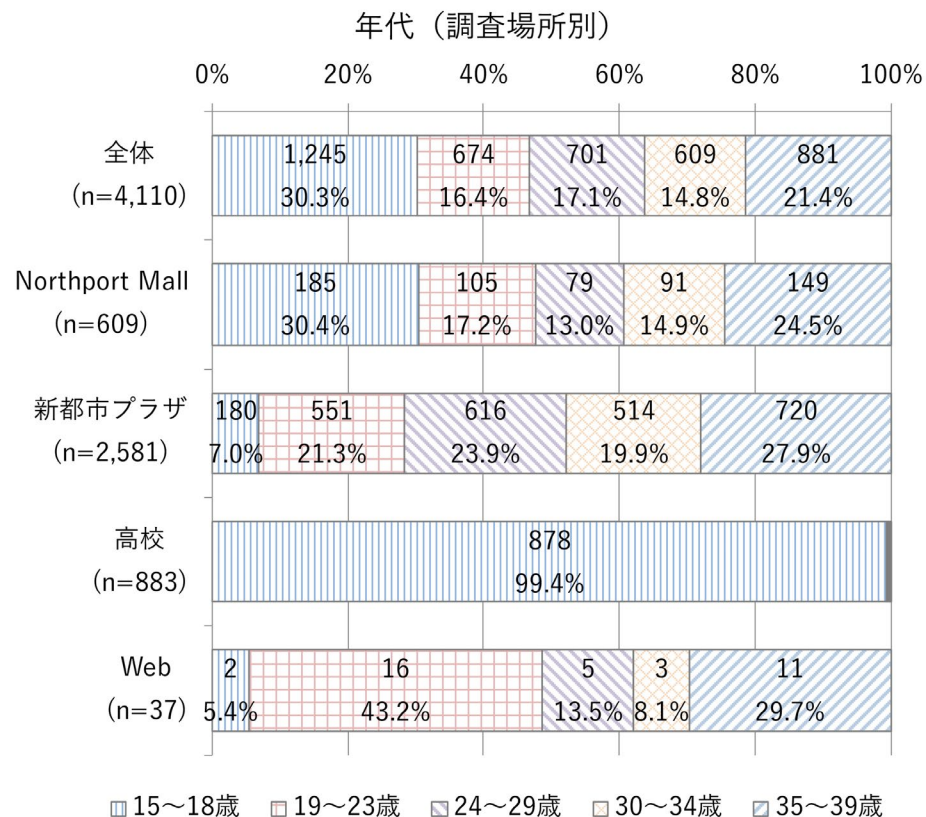
年代



居住地



調査概要・回答者属性



今回の調査では、街頭調査（Northport Mall及び新都市プラザ）、横浜市Webサイトでのアンケート調査以外に、以下の市内高等学校9校にアンケート調査を行っている。
アンケートはWeb回答であるが、本報告書では調査場所「高校」として別に表記している。

- 横浜市立戸塚高等学校
- 横浜市立桜丘高等学校
- 横浜市立金沢高等学校
- 横浜市立南高等学校
- 横浜市立東高等学校
- 横浜市立横浜商業高等学校
- 横浜市立みなと総合高等学校
- 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
- 横浜市立横浜総合高等学校

※高等学校での調査結果は、年代別の集計では15～18歳に含まれるが、高等学校の学生は回答時点で常時働いていない／今後就職等を控えている若者が大半であることから、独立して集計することが有意であると考え、本報告書では「高校」に限定した集計結果を多く掲載している。

注

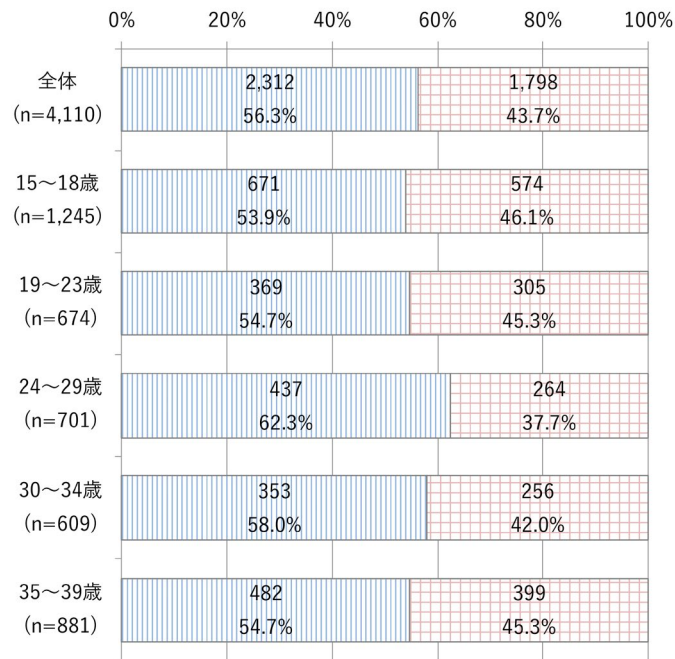
本報告書において、構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合がある。

「技能職」に関する認識

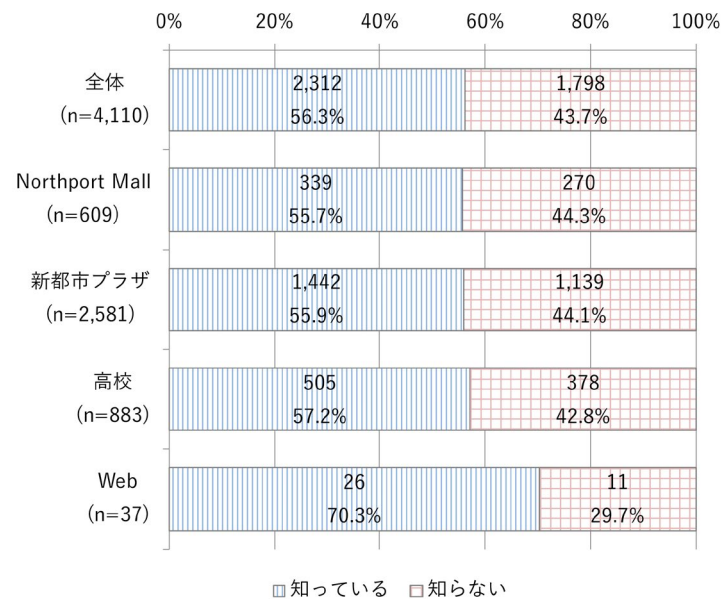
質問1-1 「技能職」と呼ばれる職種には、「職人」が手仕事・手作業で行う職のことが含まれることを知っていますか。（必須）
回答者：全員

- 過半数（56.3%）の若者が、「技能職」と呼ばれる職種には、「職人」が手仕事・手作業で行う職のことが含まれることを認識している。
- 年代別で見ると「知っている」と回答した割合は、24～29歳が最も高く（62.3%）、15～18歳が最も低い（53.9%）。
- 調査場所別では、サンプル数の少ないWebを除き、「知っている」と回答した割合は、調査場所によらず全体の±1%の範囲内に収まっている。
- 年代別の15～18歳と比べて、調査場所別の高校では、「知っている」と回答した割合が高い。

グラフ1-1-①



グラフ1-1-②



□ 知っている □ 知らない

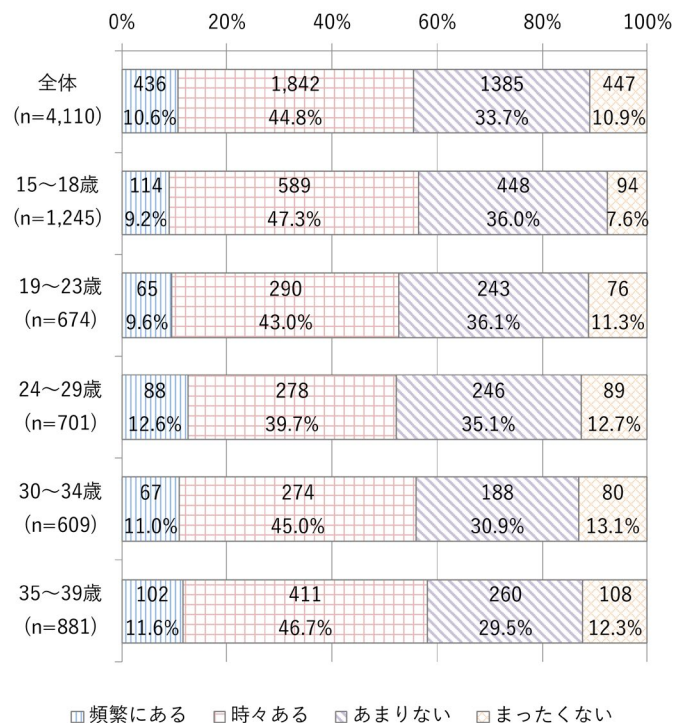
「職人」の商品・サービスの利用状況

質問1-2 あなたは日常において、「職人」の商品・サービスを利用することはありますか。(必須)

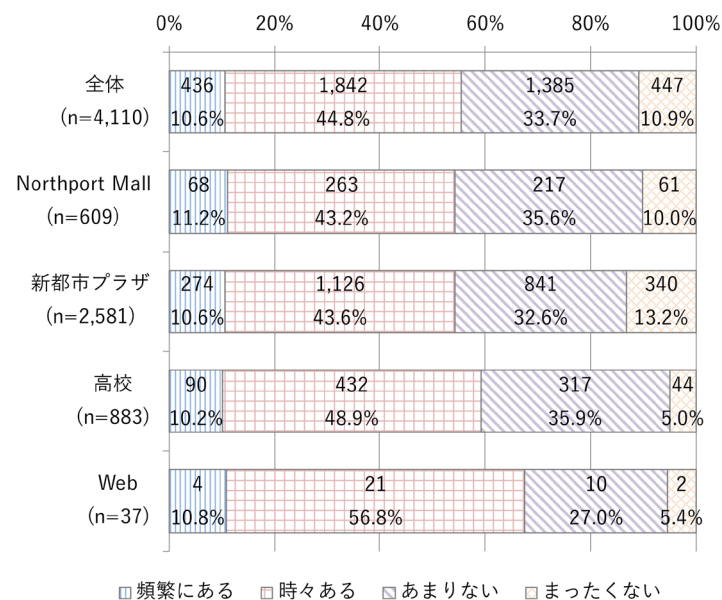
回答者：全員

- 「頻繁にある」と回答した若者は10.6%、「時々ある」と回答した若者は44.8%であり、過半数の若者が、「職人」の商品・サービスを利用している。
- 年代別では、「職人」の商品・サービスを利用している割合（「頻繁にある」+「時々ある」）は、35～39歳が最も高く（58.3%）、24～29歳が最も低い（52.3%）。
- 調査場所別では、サンプル数の少ないWebを除くと、「職人」の商品・サービスを利用している割合（「頻繁にある」+「時々ある」）は、高校が59.1%と高く、年代別の15～18歳（56.5%）と比べて、利用している割合が高い。

グラフ1-2-①



グラフ1-2-②



「職人」の商品・サービスの利用状況

質問1-3 どのような商品・サービスを利用することがありますか。(複数回答可)

回答者：質問1-2で「頻繁にある」「時々ある」と回答した若者

- 「理容師、美容師」が圧倒的に高く(75.4%)、「調理人(料理人、菓子職人など)」(38.8%)、「鍼灸、マッサージ師」(32.5%)がそれに続く。
- 「版画摺り師、スクリーン・デジタル印刷、広告美術」(4.0%)、「植木職、造園師」(3.8%)、「鋳物等製造(釜師、板金など)」(2.4%)、「石工」(1.1%)の利用は5%以下である。
- 年代別では、「理容師、美容師」「調理人(料理人、菓子職人など)」「鍼灸、マッサージ師」は年代が高いほど、利用している割合が高い傾向があるが、「食料品製造」は15~18歳が最も高い(38.0%)。

| | 全体 n=2,278 | 15~18歳 n=703 | 19~23歳 n=355 | 24~29歳 n=366 | 30~34歳 n=341 | 35~39歳 n=513 | 高校 n=522 |
|--|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 理容師、美容師 | 75.4% | 73.8% | 71.8% | 74.6% | 80.6% | 77.0% | 76.1% |
| 調理人(料理人、菓子職人など) | 38.8% | 34.9% | 33.0% | 38.8% | 44.9% | 44.2% | 36.2% |
| 鍼灸、マッサージ師 | 32.5% | 17.4% | 28.5% | 35.5% | 45.5% | 45.4% | 16.5% |
| 食料品製造(ハム、ソーセージ、豆腐など) | 28.2% | 38.0% | 22.3% | 26.2% | 27.6% | 20.7% | 40.4% |
| 建築関連(建築士、大工、管工事、屋根、型枠、石膏、真鍮人、塗装、内装、設備設備、塗装人など) | 19.9% | 15.8% | 14.1% | 23.2% | 21.4% | 26.3% | 15.9% |
| クリーニング師 | 18.7% | 19.9% | 15.2% | 16.9% | 19.1% | 20.7% | 19.3% |
| 服飾製作等(和裁、洋服、帯仕立て、染織、靴製造・修理など) | 15.3% | 16.4% | 14.1% | 13.4% | 17.9% | 14.2% | 16.9% |
| 家具・建具職人・和竿師・竹細工 | 12.3% | 16.1% | 11.8% | 9.8% | 11.7% | 9.7% | 15.1% |
| 写真師 | 8.6% | 7.3% | 7.9% | 9.6% | 10.3% | 9.0% | 6.5% |
| 製品製造・加工処理等(塗装、木工塗装士、ステンダクレス、印章彫刻士、装具師など) | 8.1% | 7.8% | 8.5% | 9.6% | 8.2% | 7.2% | 8.0% |
| 工芸美術家(花卉装飾、陶磁器絵付け師、漆器工芸師など) | 7.7% | 6.4% | 6.5% | 7.9% | 7.9% | 10.1% | 6.3% |
| 版画摺り師、スクリーン・デジタル印刷、広告美術 | 4.0% | 3.1% | 5.1% | 3.8% | 5.6% | 3.7% | 3.3% |
| 植木職、造園師 | 3.8% | 3.0% | 1.7% | 4.4% | 2.9% | 6.6% | 1.5% |
| 鋳物等製造(釜師、板金など) | 2.4% | 1.4% | 1.7% | 4.4% | 2.6% | 2.5% | 1.5% |
| 石工 | 1.1% | 1.0% | 0.6% | 1.4% | 0.3% | 2.1% | 1.0% |
| その他 | 3.2% | 4.1% | 3.1% | 2.5% | 1.8% | 3.7% | 4.6% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の商品・サービスの利用状況

質問1 - 3 どのような商品・サービスを利用することがありますか。（複数回答可）

回答者：質問1 - 2で「頻繁にある」「時々ある」と回答した若者

「その他」のコメント（抜粋）※一部要約・意識しています。

- アクセサリーなどの小物類
- 鞆
- 傘
- 宝石加工職人
- 宝飾品
- アクセサリー等の金属加工
- 着付師による着付け
- 犬のトリマー
- 匠の毛抜き、爪切り
- 包丁研ぎ
- スポーツ（ゴルフ関連）
- グラブ職人
- 剣道具
- 弓道具
- 野球道具（バット・グローブなど）
- 部活で使う竹刀、防具（多分職人が作っている）
- ラケットのガット張り
- 習い事（バレエ）とトウシューズ
- 鉄道（鉄道運転士、車掌）
- バス（ドライバー）
- サウナ
- 自動車整備士
- 自動車の整備、チューニング
- 枕
- 小売
- 花屋
- 三味線
- 箏職人
- 振り付け師
- 金管楽器の製造職人
- 楽器修理
- エレキギター
- 楽器関連
- 引越し
- 病院
- 花火師

「職人」のイメージ

質問2 あなたが「職人」と聞いて、イメージすることを選択してください。(3つまで) (必須)

回答者：全員

- 「伝統的」「修業が必要」と回答した若者が半数を超える。
- 「高齢化が進んでいる」というイメージを持つ若者は比較的多い(45.9%)。
- 「収入が不安定」(22.2%)、「労働環境が厳しい」(20.4%)というイメージを持つ若者は比較的少なく、年代別で見ると、15～18歳はその傾向が顕著である(18.2%及び11.4%)。
- 年代別では、高い年代ほど「修業が必要」「商品・サービスの質が良い」と回答した割合が高い傾向にあり、低い年代ほど「カッコいい」と回答した割合が高い。

グラフ2-①

| | 全体 n=4,110 | 15～18歳 n=1,245 | 19～23歳 n=674 | 24～29歳 n=701 | 30～34歳 n=609 | 35～39歳 n=881 | 高校 n=883 |
|--------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 伝統的 | 75.6% | 78.7% | 78.2% | 73.0% | 71.3% | 74.2% | 78.1% |
| 修業が必要 | 52.5% | 48.3% | 47.0% | 52.4% | 58.0% | 59.1% | 50.7% |
| 高齢化が進んでいる | 45.9% | 44.0% | 45.7% | 45.6% | 50.7% | 45.6% | 45.2% |
| 商品・サービスの質が良い | 42.6% | 36.9% | 42.7% | 45.6% | 46.6% | 45.3% | 37.9% |
| 器用 | 31.8% | 32.4% | 30.6% | 30.4% | 31.9% | 33.0% | 34.1% |
| 収入が不安定 | 22.2% | 18.2% | 19.7% | 24.5% | 25.3% | 25.5% | 19.8% |
| 労働環境が厳しい | 20.4% | 11.4% | 17.1% | 29.1% | 26.1% | 24.7% | 11.1% |
| カッコいい | 19.7% | 25.1% | 21.8% | 19.0% | 14.6% | 14.4% | 25.3% |
| アナログ | 8.2% | 8.8% | 7.3% | 7.6% | 8.7% | 8.1% | 9.7% |
| その他 | 1.5% | 0.8% | 1.2% | 1.3% | 1.5% | 3.0% | 0.9% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」のイメージ

質問2 あなたが「職人」と聞いて、イメージすることを選択してください。(3つまで) (必須)

回答者：全員

消費者視点での比較：質問1-2で「頻繁にある」「時々ある」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問1-2 あなたは日常において、「職人」の商品・サービスを利用することはありますか。(必須)

- 年代によらず、「商品・サービスの質が良い」と回答した割合が、全体の回答(8ページグラフ2-①参照)に比べて特に高く、「器用」「収入が不安定」「労働環境が厳しい」「カッコいい」も高い。
- 高い年代ほど「商品・サービスの質が良い」と回答した割合が高い。

グラフ2-②

| 質問1-2で「頻繁にある」「時々ある」と回答 | 集計対象全体 n=2,278 | 15~18歳 n=703 | 19~23歳 n=355 | 24~29歳 n=366 | 30~34歳 n=341 | 35~39歳 n=513 | 高校 n=522 |
|------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 伝統的 | 72.8% | 76.5% | 76.1% | 70.5% | 66.9% | 71.2% | 76.1% |
| 修業が必要 | 53.3% | 49.2% | 47.3% | 52.7% | 58.4% | 60.0% | 51.7% |
| 高齢化が進んでいる | 44.9% | 44.0% | 45.4% | 45.4% | 48.7% | 43.1% | 43.9% |
| 商品・サービスの質が良い | 48.4% | 42.5% | 48.2% | 49.5% | 52.5% | 53.2% | 42.9% |
| 器用 | 34.4% | 37.0% | 33.5% | 31.1% | 32.6% | 34.9% | 38.3% |
| 収入が不安定 | 24.4% | 20.6% | 23.1% | 25.7% | 29.6% | 26.1% | 22.6% |
| 労働環境が厳しい | 22.6% | 13.5% | 20.6% | 29.5% | 29.0% | 27.3% | 13.6% |
| カッコいい | 22.1% | 28.3% | 23.9% | 23.8% | 16.7% | 14.8% | 28.2% |
| アナログ | 8.2% | 10.1% | 8.2% | 5.7% | 7.9% | 7.4% | 11.7% |
| その他 | 1.5% | 0.7% | 1.4% | 1.1% | 1.5% | 3.1% | 0.8% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」のイメージ

質問2 あなたが「職人」と聞いて、イメージすることを選択してください。(3つまで) (必須)

回答者：全員

消費者視点での比較：質問1-2で「あまりない」「まったくない」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問1-2 あなたは日常において、「職人」の商品・サービスを利用することはありますか。(必須)

- 年代によらず、「伝統的」と回答した割合が、全体の回答(8ページグラフ2-①参照)に比べて高く、15~18歳で特に高い(81.5%)。
- 年代によらず、「商品・サービスの質が良い」と回答した割合が、全体の回答(8ページグラフ2-①参照)に比べて低い。また、15~18歳は「労働環境が厳しい」と回答した割合が、特に低い(8.7%)。

グラフ2-③

| 質問1-2で「あまりない」「まったくない」と回答 | 集計対象全体 n=1,832 | 15~18歳 n=542 | 19~23歳 n=319 | 24~29歳 n=335 | 30~34歳 n=268 | 35~39歳 n=368 | 高校 n=361 |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 伝統的 | 79.0% | 81.5% | 80.6% | 75.8% | 76.9% | 78.5% | 81.2% |
| 修業が必要 | 51.6% | 47.0% | 46.7% | 51.9% | 57.5% | 57.9% | 49.3% |
| 高齢化が進んでいる | 47.2% | 44.1% | 46.1% | 46.0% | 53.4% | 49.2% | 47.1% |
| 商品・サービスの質が良い | 35.4% | 29.7% | 36.7% | 41.5% | 39.2% | 34.2% | 30.7% |
| 器用 | 28.6% | 26.4% | 27.3% | 29.6% | 31.0% | 30.4% | 28.0% |
| 収入が不安定 | 19.4% | 15.1% | 16.0% | 23.3% | 19.8% | 24.7% | 15.8% |
| 労働環境が厳しい | 17.6% | 8.7% | 13.2% | 28.7% | 22.4% | 21.2% | 7.5% |
| カッコいい | 16.6% | 21.0% | 19.4% | 13.7% | 11.9% | 13.9% | 21.1% |
| アナログ | 8.2% | 7.2% | 6.3% | 9.6% | 9.7% | 9.0% | 6.9% |
| その他 | 1.5% | 0.9% | 0.9% | 1.5% | 1.5% | 2.7% | 1.1% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」のイメージ

質問2 あなたが「職人」と聞いて、イメージすることを選択してください。(3つまで) (必須)

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。(必須)

- 年代によらず、「カッコいい」と回答した割合が、全体の回答(8ページグラフ2-①参照)に比べて高く、15~18歳で特に高い(30.8%)。
- 高い年代ほど「商品・サービスの質が良い」と回答した割合が高く、全体の回答(8ページグラフ2-①参照)に比べて、35~39歳、30~34歳で特に高い(50.4%及び50.3%)。
- 「伝統的」「高齢化が進んでいる」と回答した割合が、全体の回答(8ページグラフ2-①参照)に比べて低い(70.4%及び35.7%)。

グラフ2-④

| 質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答 | 集計対象全体 n=1,062 | 15~18歳 n=263 | 19~23歳 n=158 | 24~29歳 n=200 | 30~34歳 n=159 | 35~39歳 n=282 | 高校 n=160 |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 伝統的 | 70.4% | 73.4% | 70.3% | 73.0% | 65.4% | 68.8% | 75.6% |
| 修業が必要 | 48.4% | 49.8% | 34.8% | 43.5% | 54.1% | 55.0% | 55.6% |
| 高齢化が進んでいる | 35.7% | 31.6% | 33.5% | 36.0% | 44.7% | 35.5% | 35.0% |
| 商品・サービスの質が良い | 45.5% | 35.7% | 45.6% | 47.5% | 50.3% | 50.4% | 41.3% |
| 器用 | 31.7% | 29.3% | 32.3% | 31.0% | 28.9% | 35.8% | 32.5% |
| 収入が不安定 | 21.4% | 16.7% | 19.6% | 22.0% | 27.0% | 23.0% | 19.4% |
| 労働環境が厳しい | 19.5% | 11.4% | 14.6% | 23.5% | 25.2% | 23.8% | 10.6% |
| カッコいい | 22.6% | 30.8% | 24.1% | 21.0% | 18.9% | 17.4% | 31.3% |
| アナログ | 5.9% | 7.2% | 5.1% | 5.0% | 5.0% | 6.4% | 10.0% |
| その他 | 1.7% | 1.1% | 1.9% | 2.0% | 0.6% | 2.5% | 1.9% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」のイメージ

質問2 あなたが「職人」と聞いて、イメージすることを選択してください。(3つまで) (必須)

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。(必須)

- 年代によらず、「修業が必要」「高齢化が進んでいる」「アナログ」と回答した割合が、全体の回答(8ページグラフ2-①参照)に比べて高い。
- 高い年代ほど「修業が必要」と回答した割合が高い。

グラフ2-⑤

| 質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答 | 集計対象全体 n=2,186 | 15~18歳 n=746 | 19~23歳 n=391 | 24~29歳 n=353 | 30~34歳 n=296 | 35~39歳 n=400 | 高校 n=550 |
|------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 伝統的 | 78.2% | 81.0% | 82.1% | 72.2% | 74.0% | 77.5% | 80.0% |
| 修業が必要 | 54.5% | 48.4% | 52.4% | 56.1% | 60.5% | 62.3% | 50.5% |
| 高齢化が進んでいる | 52.2% | 51.2% | 50.6% | 51.6% | 56.8% | 52.8% | 51.1% |
| 商品・サービスの質が良い | 39.1% | 34.7% | 40.7% | 40.2% | 43.9% | 41.0% | 34.0% |
| 器用 | 31.2% | 31.9% | 27.9% | 30.9% | 34.5% | 30.8% | 32.7% |
| 収入が不安定 | 22.5% | 18.8% | 19.9% | 26.9% | 24.7% | 26.5% | 20.4% |
| 労働環境が厳しい | 21.2% | 11.4% | 18.9% | 32.6% | 28.0% | 26.5% | 11.5% |
| カッコいい | 16.4% | 20.5% | 19.7% | 14.7% | 10.5% | 11.3% | 19.3% |
| アナログ | 9.0% | 9.2% | 7.9% | 7.9% | 11.5% | 8.5% | 9.6% |
| その他 | 1.3% | 0.4% | 1.0% | 1.1% | 1.4% | 3.5% | 0.5% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」のイメージ

質問2 あなたが「職人」と聞いて、イメージすることを選択してください。(3つまで) (必須)

回答者：全員

「その他」のコメント(抜粋) ※一部要約・意識しています。

- 価格が高い
- 資格が必要そう
- プロ、ベテラン
- 陰しい
- 技術を継ぐ人がいない
- サービスの値段が高い
- みんなが思っているより数学をものすごく使う
- 信念が有る
- 他に応用できない
- 手に職があるのが羨ましい
- 一生懸命仕事をして技量をあげている
- 体育会系
- 武骨
- 一人親方
- 頑固、こだわりがある
- 使用者との親密な関係を築く必要がある
- ものづくり
- こだわり
- 技術が優れている。他の人にはできない技術を持っている
- 感覚が必要とされる仕事
- 省人化、技術伝承が必要、自動化が一部進む
- その職の専門家
- 属人的
- 地域の"顔"としての役割も持っている
- 大変そう
- 気難しい人が多い
- 古臭い

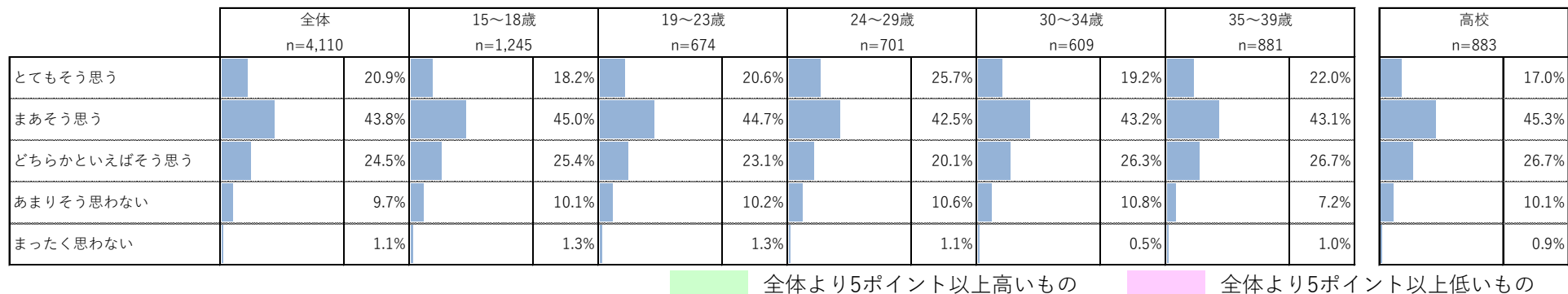
「職人」の商品・サービスの利用に対する意識

質問3-1 あなたは商品やサービスを選ぶとき、職人が提供する商品・サービスを選びたいと思いますか。(必須)

回答者：全員

- 「とてもそう思う」と回答した若者は20.9%、「まあそう思う」と回答した若者は43.8%であり、約2/3の若者が、「職人」の商品・サービスの利用に前向きである。
- 「まったく思わない」と回答した若者は1.1%である。
- 年代別では、「とてもそう思う」と回答した若者の割合は、24～29歳で最も高く（25.7%）、15～18歳で最も低い（18.2%）。

グラフ3-1-①



「職人」の商品・サービスの利用に対する意識

質問3-1 あなたは商品やサービスを選ぶとき、職人が提供する商品・サービスを選びたいと思いますか。(必須)

回答者：全員

消費者視点での比較：質問1-2で「頻繁にある」「時々ある」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問1-2 あなたは日常において、「職人」の商品・サービスを利用することはありますか。(必須)

- 年代によらず、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合が、全体の回答(14ページグラフ3-1-①参照)に比べて高く、24~29歳で特に高い(84.4%)。

グラフ3-1-②

| 質問1-2で「頻繁にある」「時々ある」と回答 | 集計対象全体 n=2,278 | 15~18歳 n=703 | 19~23歳 n=355 | 24~29歳 n=366 | 30~34歳 n=341 | 35~39歳 n=513 | 高校 n=522 |
|------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| とてもそう思う | 27.3% | 23.2% | 26.5% | 37.4% | 25.8% | 27.5% | 23.4% |
| まあそう思う | 49.1% | 50.6% | 50.1% | 47.0% | 48.1% | 48.3% | 49.6% |
| どちらかといえばそう思う | 18.7% | 20.6% | 17.2% | 10.9% | 22.3% | 20.3% | 21.8% |
| あまりそう思わない | 4.8% | 5.5% | 6.2% | 4.6% | 3.8% | 3.7% | 5.2% |
| まったく思わない | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.2% | 0.0% |

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の商品・サービスの利用に対する意識

質問3-1 あなたは商品やサービスを選ぶとき、職人が提供する商品・サービスを選びたいと思いますか。(必須)

回答者：全員

消費者視点での比較：質問1-2で「あまりない」「まったくない」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問1-2 あなたは日常において、「職人」の商品・サービスを利用することはありますか。(必須)

- 年代によらず、「どちらかといえばそう思う」「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した割合が、全体の回答(14ページグラフ3-1-①参照)に比べて高い。

グラフ3-1-③

| 質問1-2で「あまりない」「まったくない」と回答 | 集計対象全体 n=1,832 | 15~18歳 n=542 | 19~23歳 n=319 | 24~29歳 n=335 | 30~34歳 n=268 | 35~39歳 n=368 | 高校 n=361 |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| とてもそう思う | 12.8% | 11.8% | 14.1% | 12.8% | 10.8% | 14.4% | 7.8% |
| まあそう思う | 37.3% | 37.6% | 38.6% | 37.6% | 36.9% | 35.9% | 39.1% |
| どちらかといえばそう思う | 31.8% | 31.5% | 29.8% | 30.1% | 31.3% | 35.6% | 33.8% |
| あまりそう思わない | 15.7% | 16.1% | 14.7% | 17.0% | 19.8% | 12.0% | 17.2% |
| まったく思わない | 2.4% | 3.0% | 2.8% | 2.4% | 1.1% | 2.2% | 2.2% |

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の商品・サービスを選びたいと思う理由

質問3-2 (質問3-1について) 具体的な理由をお聞かせください。(3つまで)

回答者：質問3-1で「とてもそう思う」「まあそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した若者

- 「品質が良さそう」と回答した若者は85.7%、「長い期間使えそう」と回答した若者は54.1%であり、「職人」の商品・サービスの利用に前向きな若者は、「職人」の商品・サービスの品質について評価、あるいはプラスのイメージを持っている。
- 年代別では、高い年代ほど「手のぬくもりを感じる」と回答した割合が高く、低い年代ほど「カッコいい」「環境に優しい」と回答した割合が高い。
- 15～18歳では、「長い期間使えそう」と回答した割合が他の年代に比べて低く(49.0%)、高校に限定するとその傾向が顕著である(47.5%)。

| | 全体 n=3,667 | 15～18歳 n=1,103 | 19～23歳 n=596 | 24～29歳 n=619 | 30～34歳 n=540 | 35～39歳 n=809 | 高校 n=786 |
|-------------------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 品質が良さそう | 85.7% | 86.4% | 87.4% | 82.6% | 86.5% | 85.4% | 86.5% |
| 長い期間使えそう | 54.1% | 49.0% | 54.5% | 57.2% | 58.0% | 55.9% | 47.5% |
| 希少価値が高そう・一点ものだから | 38.3% | 35.2% | 39.3% | 43.3% | 40.9% | 36.5% | 36.0% |
| 安い物やサービス(大量生産品等)より良いと思う | 22.0% | 21.5% | 20.5% | 22.8% | 22.4% | 23.0% | 22.5% |
| 手のぬくもりを感じる | 19.6% | 17.0% | 18.8% | 19.4% | 20.7% | 23.0% | 17.3% |
| カッコいい | 14.4% | 18.2% | 15.3% | 12.6% | 12.0% | 11.5% | 18.7% |
| 環境に優しい | 7.0% | 9.5% | 7.9% | 5.7% | 5.6% | 5.1% | 8.1% |
| 職人の顔が見える | 6.3% | 4.1% | 4.7% | 7.3% | 7.0% | 9.3% | 4.3% |
| アナログ | 2.3% | 2.4% | 1.8% | 2.1% | 1.7% | 3.1% | 2.8% |
| その他 | 0.9% | 0.4% | 0.2% | 1.0% | 1.9% | 1.4% | 0.3% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の商品・サービスを選びたいと思う理由

質問3-2 (質問3-1について) 具体的な理由をお聞かせください。(3つまで)

回答者：質問3-1で「とてもそう思う」「まあそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した若者

「その他」のコメント(抜粋) ※一部要約・意識しています。

- 日本の職人を残すことに少しでも貢献したい
- すぐ使いたくなる
- 頑張る人を応援したいから
- 伝統を絶やすべきでは無いと首里城火災の赤瓦の件で改めて思い知らされたから
- 欲しいと思うが高くて頻繁には手が出せない
- 人件費がかかる分サービスの内容が充実していそうだから
- 目的に対して応えてくれる
- 実家で使用している古いものは工芸品が多いため
- 職人を支援したいから
- 人生の節目の記念には、既製品より適していると思うため
- 職業を守るため
- 生きる希望・まだ未知なる世界を教えてくれた！
- 理容などヘアカットは生活に不可欠なので利用する他の選択がない
- 品質が良く、できれば購入したいが、価格を優先して買わない場面が多い
- 商品の購入等を行うことが伝統産業を守ることにもつながると思うから
- 地方の文化を知ることができて楽しいから

「職人」の商品・サービスを選びたいと思わない理由

質問3-3 (質問3-1について) 具体的な理由をお聞かせください。(3つまで)

回答者：質問3-1で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者

- 「金額が高い」と回答した若者は72.5%、「安い物やサービスで代用できる」と回答した若者は34.8%であり、「職人」の商品・サービスの利用に前向きではない若者は、利用時のコストを懸念している傾向がある。
- 「品質にバラつきがありそう」と回答した若者は10.6%、「長い期間使えなそう」と回答した若者は4.3%であり、「職人」の商品・サービスの利用に前向きではない若者でも、品質面を懸念している割合は低い。
- 年代別では、どの理由も一様な傾向は見られない。
- 「金額が高い」と回答した若者は、35～39歳で最も高く(80.6%)、24～29歳で最も低い(65.9%)。
- 「安い物やサービスで代用できる」と回答した若者は、30～34歳で最も高く(43.5%)、24～29歳で最も低い(31.7%)。
- 「自分自身が物・サービスに対するこだわりがない」と回答した若者は、19～23歳が37.2%、15～18歳が33.8%と低い年代で割合が高い。

| | 全体 n=443 | 15～18歳 n=142 | 19～23歳 n=78 | 24～29歳 n=82 | 30～34歳 n=69 | 35～39歳 n=72 | 高校 n=97 |
|---------------------------|-------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------|
| 金額が高い | 72.5% | 72.5% | 71.8% | 65.9% | 72.5% | 80.6% | 71.1% |
| 安い物やサービスで代用できる | 34.8% | 32.4% | 37.2% | 31.7% | 43.5% | 31.9% | 35.1% |
| 自分自身が物・サービスに対するこだわりがない | 30.0% | 33.8% | 37.2% | 24.4% | 27.5% | 23.6% | 36.1% |
| 同様の物やサービスをインターネットで購入できるから | 13.3% | 9.9% | 10.3% | 22.0% | 17.4% | 9.7% | 7.2% |
| 品質にバラつきがありそう | 10.6% | 9.2% | 9.0% | 12.2% | 8.7% | 15.3% | 8.2% |
| 時代に合わない | 9.3% | 8.5% | 9.0% | 11.0% | 13.0% | 5.6% | 3.1% |
| 対面で購入するのが煩わしい | 7.9% | 6.3% | 2.6% | 9.8% | 17.4% | 5.6% | 6.2% |
| 壊れても修理が出来ない | 5.9% | 4.9% | 6.4% | 3.7% | 5.8% | 9.7% | 5.2% |
| 長い期間使えなそう | 4.3% | 2.1% | 3.8% | 2.4% | 7.2% | 8.3% | 3.1% |
| その他 | 2.9% | 2.1% | 2.6% | 1.2% | 5.8% | 4.2% | 2.1% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の商品・サービスを選びたいと思わない理由

質問3-3 (質問3-1について) 具体的な理由をお聞かせください。(3つまで)
回答者：質問1-2で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者

「その他」のコメント(抜粋) ※一部要約・意識しています。

- 高そう、人によって能力が違いそう
- 期間が長い
- サービスの調達に難があるイメージがある
- 必要かつ良いもので信頼できるならば誰が作ろうが構わない
- 必要なら多少高価になろうと長持ちやサポートがあるならばそちらを選ぶ
- その場にある少ない商品から選ばないといけないから。他と比較できないから

職業選択時に重視する（した）事柄

質問4 あなたが職業を選択する（した）とき、重視する（した）事柄を教えてください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

- 「好きなことを仕事にしたい」（57.6%）、「やりがいを感じたい」（48.3%）と考えている若者が多い一方で、「自分の知識や専門性を活かしたい」（20.9%）、「創造的な仕事である」（10.8%）と考えている若者は少ない。
- 年代別では、高い年代ほど「職住近接（家と職場が近い）」と回答した割合が高い。また、「好きなことを仕事にしたい」と回答した若者は、15～18歳が72.2%、19～23歳が59.3%と低い年代で割合が高い。

グラフ4-①

| | 全体 n=4,110 | 15～18歳 n=1,245 | 19～23歳 n=674 | 24～29歳 n=701 | 30～34歳 n=609 | 35～39歳 n=881 | 高校 n=883 |
|-----------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 好きなことを仕事にしたい | 57.6% | 72.2% | 59.3% | 49.2% | 47.8% | 49.0% | 71.3% |
| やりがいを感じたい | 48.3% | 50.0% | 49.7% | 42.1% | 50.2% | 48.6% | 50.4% |
| 給料が高い | 39.5% | 40.3% | 39.6% | 40.9% | 39.1% | 37.2% | 40.5% |
| 休みが多い・取りやすい | 37.2% | 29.7% | 34.0% | 44.4% | 42.7% | 40.9% | 31.8% |
| 良好な人間関係 | 35.0% | 32.1% | 35.5% | 38.5% | 37.1% | 34.5% | 32.2% |
| 社会に貢献したい | 23.3% | 21.8% | 25.5% | 22.3% | 24.0% | 23.8% | 22.8% |
| 自分の知識や専門性を活かしたい | 20.9% | 19.4% | 19.3% | 19.5% | 24.0% | 23.2% | 19.9% |
| 職住近接（家と職場が近い） | 11.5% | 6.9% | 7.3% | 13.4% | 16.1% | 16.5% | 7.4% |
| 創造的な仕事である | 10.8% | 10.2% | 12.6% | 9.6% | 11.5% | 10.6% | 10.3% |
| その他 | 1.0% | 0.8% | 0.3% | 1.0% | 1.0% | 2.0% | 0.9% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

職業選択時に重視する（した）事柄

質問4 あなたが職業を選択する（した）とき、重視する（した）事柄を教えてください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。（必須）

- 年代によらず、「好きなことを仕事にしたい」と回答した割合が、全体の回答（21ページグラフ4-①参照）に比べて高く、15～18歳で特に高い（78.7%）。高校に限定するとその傾向が顕著であり、「好きなことを仕事にしたい」は高く（79.4%）、「給料が高い」（30.6%）「休みが多い・取りやすい」（20.0%）「良好な人間関係」（26.9%）は低い。
- 「やりがいを感じたい」と回答した若者は、35～39歳が57.8%、30～34歳が53.5%と、高い年代で全体と比べて割合が高い。

グラフ4-②

| 質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答 | 集計対象全体 n=1,062 | 15～18歳 n=263 | 19～23歳 n=158 | 24～29歳 n=200 | 30～34歳 n=159 | 35～39歳 n=282 | 高校 n=160 |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 好きなことを仕事にしたい | 65.8% | 78.7% | 68.4% | 61.0% | 57.2% | 60.6% | 79.4% |
| やりがいを感じたい | 51.5% | 47.9% | 52.5% | 45.0% | 53.5% | 57.8% | 51.3% |
| 給料が高い | 30.2% | 31.6% | 31.6% | 28.0% | 37.7% | 25.5% | 30.6% |
| 休みが多い・取りやすい | 25.7% | 18.3% | 20.3% | 32.0% | 30.2% | 28.7% | 20.0% |
| 良好な人間関係 | 30.3% | 24.7% | 26.6% | 36.5% | 33.3% | 31.6% | 26.9% |
| 社会に貢献したい | 26.6% | 24.3% | 27.2% | 26.0% | 26.4% | 29.1% | 25.6% |
| 自分の知識や専門性を活かしたい | 23.0% | 22.8% | 22.8% | 20.0% | 26.4% | 23.4% | 26.3% |
| 職住近接（家と職場が近い） | 8.4% | 5.3% | 8.2% | 8.5% | 8.8% | 11.0% | 5.6% |
| 創造的な仕事である | 15.5% | 14.8% | 17.1% | 15.0% | 13.8% | 16.7% | 17.5% |
| その他 | 1.2% | 0.8% | 0.0% | 1.0% | 1.3% | 2.5% | 1.9% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

職業選択時に重視する（した）事柄

質問4 あなたが職業を選択する（した）とき、重視する（した）事柄を教えてください。（3つまで）（必須）
 回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。（必須）

- 年代によらず、「給料が高い」「休みが多い・取りやすい」と回答した割合が、全体の回答（21ページグラフ4-①参照）に比べて高い。
- 年代によらず、「好きなことを仕事にしたい」と回答した割合が、全体の回答（21ページグラフ4-①参照）に比べて低く、30～34歳が43.9%、24～29歳が42.8%、35～39歳が42.0%と、高い年代で全体と比べて特に低い。

グラフ4-③

| 質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答 | 集計対象全体 n=2,186 | 15～18歳 n=746 | 19～23歳 n=391 | 24～29歳 n=353 | 30～34歳 n=296 | 35～39歳 n=400 | 高校 n=550 |
|------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 好きなことを仕事にしたい | 53.9% | 68.9% | 55.2% | 42.8% | 43.9% | 42.0% | 67.8% |
| やりがいを感じたい | 45.7% | 50.0% | 50.4% | 37.1% | 44.9% | 41.0% | 49.5% |
| 給料が高い | 44.8% | 43.8% | 45.0% | 46.2% | 41.2% | 48.0% | 43.8% |
| 休みが多い・取りやすい | 42.2% | 32.7% | 37.9% | 50.1% | 51.4% | 50.3% | 33.6% |
| 良好な人間関係 | 36.6% | 34.2% | 39.1% | 37.1% | 39.2% | 36.3% | 32.7% |
| 社会に貢献したい | 22.1% | 22.1% | 23.8% | 19.3% | 22.3% | 22.8% | 23.5% |
| 自分の知識や専門性を活かしたい | 19.1% | 18.5% | 17.6% | 16.7% | 22.6% | 21.0% | 18.2% |
| 職住近接（家と職場が近い） | 12.1% | 7.0% | 6.1% | 15.9% | 19.3% | 19.0% | 7.6% |
| 創造的な仕事である | 8.1% | 7.6% | 9.5% | 7.1% | 10.1% | 7.3% | 7.1% |
| その他 | 0.9% | 0.7% | 0.3% | 0.8% | 1.0% | 1.8% | 0.5% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

職業選択時に重視する（した）事柄

質問4 あなたが職業を選択する（した）とき、重視する（した）事柄を教えてください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

「その他」のコメント（抜粋）※一部要約・意識しています。

- 選べる環境下になかった。出来ることを仕事にした
- 就職先が他になかった
- 親と同じ職業のため
- 自分にできる仕事内容かどうか
- 歳をかさねても続けられる
- 手に職をつけたい
- 個人的にできる
- 私生活との両立
- ワークライフバランス
- 福利厚生
- 人権、パーソナルな距離、環境に理解があること
- 働く環境がいい（多様な言語が使える）
- 女性が働き続けやすそう
- 子育てのしやすさ
- 働きやすさ
- 自由度の広さ
- タバコ臭くないか
- アレルギーがでないか
- 勤務先が都内であること（余暇を都内で過ごすことが多いので、仕事終わりのアクセスの良さや、休日でも定期券で遊びに行けるから）
- 自分が人間として成長できる、手に職をもてる技術性のあるもの
- 安定・リストラがない
- 安定した会社なのでつぶれる可能性が低そう

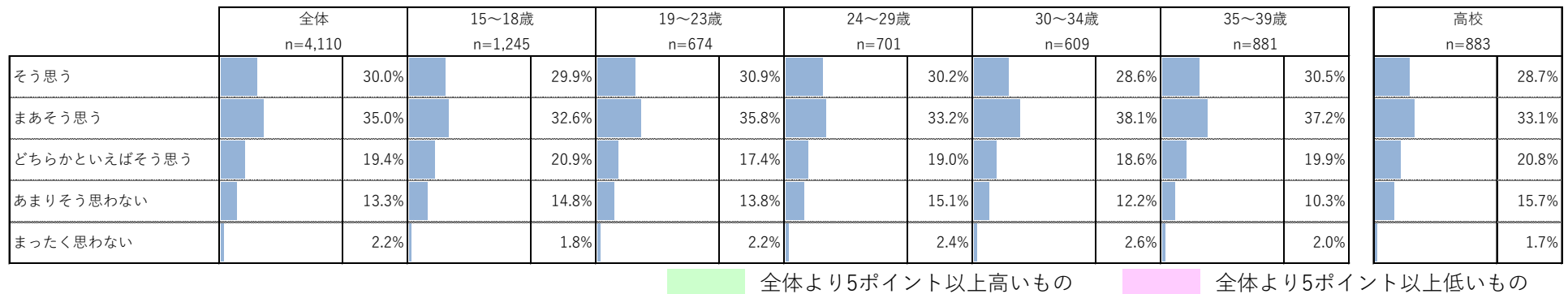
「職人」の仕事に対する意識

質問5-1 あなたは職人の仕事に魅力を感じますか。(必須)

回答者：全員

- 「そう思う」と回答した若者は30.0%、「まあそう思う」と回答した若者は35.0%であり、約2/3の若者が「職人」の仕事に魅力を感じている。
- 年代別では、どの回答も一様な傾向は見られない。

グラフ5-1-①



「職人」の仕事に対する意識

質問5-1 あなたは職人の仕事に魅力を感じますか。(必須)

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。(必須)

- 年代によらず、「そう思う」と回答した割合が、全体の回答（25ページグラフ5-1-①参照）に比べて大幅に高い。
- 年代別では、どの回答も一様な傾向は見られない。

グラフ5-1-②

| 質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答 | 集計対象全体 n=1,062 | 15~18歳 n=263 | 19~23歳 n=158 | 24~29歳 n=200 | 30~34歳 n=159 | 35~39歳 n=282 | 高校 n=160 |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| そう思う | 58.7% | 57.8% | 60.8% | 57.5% | 57.9% | 59.6% | 60.6% |
| まあそう思う | 33.8% | 30.0% | 33.5% | 35.5% | 35.2% | 35.5% | 30.6% |
| どちらかといえばそう思う | 5.1% | 8.4% | 3.8% | 4.5% | 4.4% | 3.5% | 5.6% |
| あまりそう思わない | 1.7% | 2.7% | 1.9% | 1.5% | 1.9% | 0.7% | 2.5% |
| まったく思わない | 0.8% | 1.1% | 0.0% | 1.0% | 0.6% | 0.7% | 0.6% |

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に対する意識

質問5-1 あなたは職人の仕事に魅力を感じますか。(必須)

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。(必須)

- 年代によらず、「どちらかといえばそう思う」「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した割合が、全体の回答(25ページグラフ5-1-①参照)に比べて高い。
- 年代別では、どの回答も一様な傾向は見られない。

グラフ5-1-③

| 質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答 | 集計対象全体 n=2,186 | 15~18歳 n=746 | 19~23歳 n=391 | 24~29歳 n=353 | 30~34歳 n=296 | 35~39歳 n=400 | 高校 n=550 |
|------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| そう思う | 16.2% | 17.7% | 20.2% | 15.0% | 12.8% | 13.0% | 16.4% |
| まあそう思う | 30.5% | 30.7% | 32.0% | 23.2% | 32.1% | 34.0% | 31.8% |
| どちらかといえばそう思う | 26.4% | 25.7% | 22.0% | 29.5% | 27.4% | 28.5% | 25.5% |
| あまりそう思わない | 23.4% | 23.3% | 22.0% | 28.3% | 23.0% | 20.8% | 24.0% |
| まったく思わない | 3.5% | 2.5% | 3.8% | 4.0% | 4.7% | 3.8% | 2.4% |

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に魅力を感じる理由

質問5-2 職人の仕事について、魅力だと感じる理由を教えてください。（3つまで）

回答者：質問5-1で「そう思う」「まあそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した若者

- 「職人」の仕事に魅力を感じている若者の過半数が、「『手に職』がつけられる」（55.6%）「技術が優れている」（52.2%）ことを理由に挙げている。
- 年代別では、高い年代ほど「『手に職』がつけられる」と回答した割合が高く、低い年代ほど「カッコいい」と回答した割合が高い。
- 15～18歳及び高校では、「技術が優れている」と回答した割合が最も高く（56.7%及び55.6%）、「伝統を継承する仕事だ」がそれに続く（42.4%及び43.2%）。また、全体と比べて「『手に職』がつけられる」は低く（31.4%及び30.2%）、「カッコいい」は高い（21.7%及び23.6%）。

グラフ5-2-①

| | 全体 n=3,473 | 15～18歳 n=1,038 | 19～23歳 n=566 | 24～29歳 n=578 | 30～34歳 n=519 | 35～39歳 n=772 | 高校 n=729 |
|---------------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 「手に職」がつけられる | 55.6% | 31.4% | 49.5% | 63.1% | 72.1% | 76.0% | 30.2% |
| 技術が優れている | 52.2% | 56.7% | 52.8% | 48.3% | 53.2% | 48.1% | 55.6% |
| 伝統を継承する仕事だ | 41.1% | 42.4% | 42.4% | 39.3% | 39.5% | 40.8% | 43.2% |
| 唯一無二の商品やサービスを提供できる | 22.7% | 25.3% | 23.1% | 22.1% | 20.2% | 21.0% | 26.2% |
| 創造的な仕事だ | 22.6% | 19.4% | 24.2% | 22.5% | 24.1% | 25.0% | 19.6% |
| 国内外からの高い評価 | 19.7% | 19.9% | 22.8% | 18.9% | 16.0% | 20.3% | 19.8% |
| 自らが納得のいく仕事ができる | 17.3% | 16.2% | 16.4% | 19.0% | 16.4% | 18.7% | 17.1% |
| 長期間使える物・サービスを提供している | 15.2% | 12.0% | 15.5% | 17.0% | 17.7% | 16.3% | 12.9% |
| カッコいい | 14.3% | 21.7% | 15.4% | 11.2% | 9.4% | 9.1% | 23.6% |
| その他 | 0.3% | 0.1% | 0.2% | 1.0% | 0.4% | 0.3% | 0.0% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に魅力を感じる理由

質問5-2 職人の仕事について、魅力だと感じる理由を教えてください。(3つまで)

回答者：質問5-1で「そう思う」「まあそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した若者

職人の成り手視点での比較：質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。(必須)

- 年代によらず、「『手に職』がつけられる」「自らが納得のいく仕事ができる」と回答した割合が、全体の回答(28ページグラフ5-2-①参照)に比べて高い。特に、35~39歳では、「『手に職』がつけられる」と回答した割合が8割を超える(80.6%)。

グラフ5-2-②

| 質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答 | 集計対象全体 n=1,036 | 15~18歳 n=253 | 19~23歳 n=155 | 24~29歳 n=195 | 30~34歳 n=155 | 35~39歳 n=278 | 高校 n=155 |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 「手に職」がつけられる | 65.4% | 48.6% | 52.9% | 68.7% | 74.2% | 80.6% | 53.5% |
| 技術が優れている | 52.1% | 50.6% | 54.8% | 48.7% | 56.1% | 52.2% | 51.0% |
| 伝統を継承する仕事だ | 36.6% | 39.1% | 35.5% | 31.8% | 35.5% | 38.8% | 40.0% |
| 唯一無二の商品やサービスを提供できる | 20.8% | 22.9% | 16.8% | 20.0% | 21.3% | 21.2% | 25.8% |
| 創造的な仕事だ | 25.1% | 21.3% | 25.8% | 20.5% | 25.2% | 31.3% | 21.3% |
| 国内外からの高い評価 | 17.9% | 17.0% | 17.4% | 17.4% | 14.2% | 21.2% | 18.7% |
| 自らが納得のいく仕事ができる | 20.0% | 18.6% | 18.1% | 23.1% | 18.1% | 21.2% | 21.9% |
| 長期間使える物・サービスを提供している | 15.3% | 12.3% | 14.2% | 12.3% | 21.9% | 17.3% | 13.5% |
| カッコいい | 14.0% | 20.6% | 16.8% | 12.3% | 13.5% | 7.9% | 25.8% |
| その他 | 0.5% | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 1.3% | 0.4% | 0.0% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に魅力を感じる理由

質問5-2 職人の仕事について、魅力だと感じる理由を教えてください。（3つまで）

回答者：質問5-1で「そう思う」「まあそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した若者

職人の成り手視点での比較：質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。（必須）

□ 年代によらず、「伝統を継承する仕事だ」と回答した割合が、全体の回答（28ページグラフ5-2-①参照）に比べて高い。

グラフ5-2-③

| 質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答 | 集計対象全体 n=1,598 | 15~18歳 n=553 | 19~23歳 n=290 | 24~29歳 n=239 | 30~34歳 n=214 | 35~39歳 n=302 | 高校 n=405 |
|------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 「手に職」がつけられる | 47.8% | 22.2% | 46.6% | 59.4% | 68.2% | 72.2% | 20.2% |
| 技術が優れている | 51.9% | 59.3% | 49.3% | 46.4% | 52.8% | 44.4% | 57.5% |
| 伝統を継承する仕事だ | 45.7% | 46.1% | 47.6% | 43.5% | 46.3% | 44.7% | 47.2% |
| 唯一無二の商品やサービスを提供できる | 23.2% | 24.1% | 23.4% | 24.3% | 20.6% | 22.2% | 23.7% |
| 創造的な仕事だ | 20.2% | 17.4% | 24.5% | 20.1% | 22.4% | 19.5% | 18.0% |
| 国内外からの高い評価 | 21.7% | 22.8% | 26.6% | 20.1% | 16.8% | 19.5% | 22.0% |
| 自らが納得のいく仕事ができる | 14.7% | 14.1% | 15.2% | 13.8% | 14.0% | 16.6% | 14.8% |
| 長期間使える物・サービスを提供している | 15.0% | 11.8% | 17.2% | 17.6% | 17.3% | 15.2% | 12.1% |
| かっこいい | 14.0% | 22.1% | 13.4% | 8.8% | 8.4% | 7.9% | 21.7% |
| その他 | 0.3% | 0.0% | 0.3% | 0.8% | 0.0% | 0.3% | 0.0% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に魅力を感じる理由

質問5-2 職人の仕事について、魅力だと感じる理由を教えてください。（3つまで）

回答者：質問5-1で「そう思う」「まあそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した若者

「その他」のコメント（抜粋）※一部要約・意識しています。

- 定年がない
- 社会的能力・コミュニケーション能力が比較的重視されないから
- 高い収入を目指せる
- 収入が高い場合、その収入が魅力
- 就職に有利だから
- ある程度自分のペースで仕事ができるイメージがある
- 場所を問わず働ける
- デジタルが進んでいるからこそ貴重なアナログだと思う

技能職が後継者不足である理由

質問5-3 技能職（職人）の多くの業種では、後継者不足が課題となっています。それはなぜだと思いますか。
あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

- 「職人になる方法がわからない、なるまでが大変そう」と回答した若者は51.7%、「仕事内容が厳しそう」と回答した若者は48.4%であり、若者は職人の仕事・業界に対して厳しい印象を持っている。
- 質問2で「職人」のイメージとして「収入が不安定」と回答した若者は22.2%であった一方で（8ページグラフ2-①参照）、後継者不足の理由として、半数近く（46.4%）の若者が「収入が不安定そう」と考えている。
- 年代別では、どの回答も一様な傾向は見られないが、「休みが少なそう、取りにくそう」と回答した若者は、24～29歳が39.5%、30～34歳が37.3%、35～39歳が35.4%と全体に比べて高い年代で割合が高い。

グラフ5-3-①

| | 全体 n=4,110 | 15～18歳 n=1,245 | 19～23歳 n=674 | 24～29歳 n=701 | 30～34歳 n=609 | 35～39歳 n=881 | 高校 n=883 |
|-------------------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 職人になる方法がわからない、なるまでが大変そう | 51.7% | 50.0% | 51.8% | 52.2% | 51.4% | 53.8% | 50.7% |
| 仕事内容が厳しそう | 48.4% | 45.4% | 49.1% | 47.9% | 51.7% | 50.3% | 47.5% |
| 収入が不安定そう | 46.4% | 42.8% | 45.0% | 47.5% | 47.3% | 51.1% | 44.5% |
| 職業の認知度 | 37.4% | 40.1% | 36.1% | 35.1% | 36.0% | 37.7% | 39.4% |
| 体力的に大変そう | 30.7% | 26.4% | 31.3% | 37.2% | 32.2% | 29.9% | 25.8% |
| 休みが少なそう、取りにくそう | 29.8% | 18.4% | 26.6% | 39.5% | 37.3% | 35.4% | 18.6% |
| 職人仕事のニーズが減っている | 19.0% | 18.5% | 19.0% | 19.3% | 17.4% | 20.5% | 20.2% |
| 職人仕事への興味が無い | 11.0% | 18.5% | 11.9% | 8.6% | 4.8% | 6.2% | 19.4% |
| 職人になるメリットを感じない | 8.9% | 11.7% | 7.1% | 8.4% | 7.1% | 8.1% | 12.6% |
| その他 | 1.4% | 0.8% | 1.0% | 1.9% | 1.6% | 2.0% | 1.0% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

技能職が後継者不足である理由

質問5-3 技能職（職人）の多くの業種では、後継者不足が課題となっています。それはなぜだと思いますか。
あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。（必須）

- 年代によらず、「職業の認知度」と回答した割合が、全体の回答（32ページグラフ5-3-①参照）に比べて高い。特に、15～18歳及び高校では、「職業の認知度」と回答した割合が半数を超える（55.1%及び56.3%）。

グラフ5-3-②

| 質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答 | 集計対象全体 n=1,062 | 15～18歳 n=263 | 19～23歳 n=158 | 24～29歳 n=200 | 30～34歳 n=159 | 35～39歳 n=282 | 高校 n=160 |
|--------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 職人になる方法がわからない、なるまでが大変そう | 50.3% | 41.4% | 50.6% | 49.0% | 53.5% | 57.4% | 39.4% |
| 仕事内容が厳しそう | 42.5% | 39.2% | 39.2% | 39.0% | 45.9% | 47.9% | 41.3% |
| 収入が不安定そう | 37.3% | 34.2% | 33.5% | 36.0% | 40.9% | 41.1% | 37.5% |
| 職業の認知度 | 47.2% | 55.1% | 43.0% | 42.0% | 45.3% | 46.8% | 56.3% |
| 体力的に大変そう | 27.4% | 28.1% | 24.1% | 27.5% | 27.0% | 28.7% | 31.9% |
| 休みが少なそう、取りにくそう | 24.6% | 16.0% | 24.7% | 28.5% | 27.7% | 28.0% | 20.0% |
| 職人仕事のニーズが減っている | 15.6% | 15.2% | 13.3% | 16.0% | 19.5% | 14.9% | 20.6% |
| 職人仕事への興味が無い | 7.3% | 10.6% | 9.5% | 7.5% | 3.8% | 4.6% | 13.1% |
| 職人になるメリットを感じない | 4.4% | 4.9% | 5.1% | 4.5% | 2.5% | 4.6% | 8.1% |
| その他 | 1.6% | 0.8% | 0.6% | 2.0% | 2.5% | 2.1% | 1.3% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

技能職が後継者不足である理由

質問5-3 技能職（職人）の多くの業種では、後継者不足が課題となっています。それはなぜだと思いますか。

あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。（必須）

- 年代によらず、「仕事内容が厳しそう」「収入が不安定そう」「職人仕事のニーズが減っている」「職人仕事への興味が無い」「職人になるメリットを感じない」と回答した割合が、全体の回答（32ページグラフ5-3-①参照）に比べて高い。
- 15～18歳及び高校では、「職人になる方法がわからない、なるまでが大変そう」が最も高く（51.6%及び52.0%）、「仕事内容が厳しそう」（47.6%及び49.6%）、「収入が不安定そう」（46.2%及び46.7%）がそれに続く。また、「職人仕事への興味が無い」（それぞれ23.1%）、「職人になるメリットを感じない」（15.1%及び15.5%）と回答した割合が、全体の回答（32ページグラフ5-3-①参照）に比べて高い。

グラフ5-3-③

| 質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答 | 集計対象全体 n=2,186 | 15～18歳 n=746 | 19～23歳 n=391 | 24～29歳 n=353 | 30～34歳 n=296 | 35～39歳 n=400 | 高校 n=550 |
|------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 職人になる方法がわからない、なるまでが大変そう | 50.1% | 51.6% | 50.6% | 50.7% | 47.3% | 48.5% | 52.0% |
| 仕事内容が厳しそう | 51.1% | 47.6% | 52.2% | 51.8% | 53.0% | 54.3% | 49.6% |
| 収入が不安定そう | 51.0% | 46.2% | 50.4% | 53.0% | 50.7% | 59.0% | 46.7% |
| 職業の認知度 | 31.7% | 35.1% | 31.2% | 30.0% | 29.1% | 29.5% | 34.4% |
| 体力的に大変そう | 32.6% | 25.6% | 33.8% | 45.3% | 33.8% | 32.3% | 24.4% |
| 休みが少なそう、取りにくそう | 32.2% | 18.1% | 26.3% | 45.9% | 45.3% | 42.5% | 17.3% |
| 職人仕事のニーズが減っている | 20.8% | 19.8% | 21.7% | 20.4% | 19.6% | 23.0% | 20.2% |
| 職人仕事への興味が無い | 14.4% | 23.1% | 13.3% | 10.2% | 6.1% | 9.0% | 23.1% |
| 職人になるメリットを感じない | 12.1% | 15.1% | 8.4% | 12.2% | 10.5% | 11.0% | 15.5% |
| その他 | 1.3% | 0.7% | 1.3% | 1.4% | 1.7% | 2.0% | 0.9% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

技能職が後継者不足である理由

質問5-3 技能職（職人）の多くの業種では、後継者不足が課題となっています。それはなぜだと思いますか。
あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

「その他」のコメント（抜粋）※一部要約・意識しています。

- 人間関係が閉鎖的で厳格なイメージがある
- 縦社会がとても厳しそう
- 技術を継承する側が人を育てる方法を獲得していない
- 見て覚えろといった価値観がまだ多いと聞くため
- 親方や師匠が厳しそう
- 悪い意味で人間関係が昭和的で上下関係が厳しそうなイメージ
- 厳しい世界なのでパワハラがありそう
- 間違った職人のイメージ及び旧世代的な考え方の職人の声が強く閉鎖的かつパターンリズムを感じる
- メディアが機械化を礼賛しすぎるあまり、技能職など人力の職業の魅力に関する発信が疎かになっているため
- 職人自体が、後継者探しが下手であり、且つ後継者探しに積極的でないから本気で後継ぎを探そうとしていない
- 少子高齢化による技術継承不足
- 生産労働人口の減少 サービス業の割合が増加するなど、業種が多様化
- 人口減少が進んでいるから
- 魅力を感じるような出来事や経験に触れる機会が少ない
- 都心から離れた場所でお仕事をされているイメージがある
- 出会いがない
- 求人サイトを利用して、就職活動を行うのが一般的な為、個人事業主に該当する職場への就職に目が向かない（向きにくい）状況がある
- 資格を取るために費用がかかる
- 育ち方が昔より悪く言えば過保護になったので、厳しい修行にたえられず技術も後継者も育ちにくいと思う
- 自身の求めるキャリアでないと分かった後から立て直しが難しそう
- 高齢者と若者の価値観の違い
- 仕事として飽きてきそう

職業としての「職人」の仕事に対する意識

質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。(必須)

回答者：全員

- 「あまりそう思わない」と回答した若者は43.2%で最も多く、「まったく思わない」(10.0%)を含めて過半数の若者が、「職人」の仕事を経験として選択したいとは考えていない。
- 年代別では、高い年代ほど「まあそう思う」と回答した割合が高く、低い年代ほど「あまりそう思わない」と回答した割合が高い。特に、15～18歳では「あまりそう思わない」と回答した割合が最も高く(49.8%)、高校では半数を超える(52.5%)。

| | 全体 n=4,110 | 15～18歳 n=1,245 | 19～23歳 n=674 | 24～29歳 n=701 | 30～34歳 n=609 | 35～39歳 n=881 | 高校 n=883 |
|--------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| とてもそう思う | 9.1% | 8.2% | 9.2% | 11.4% | 7.1% | 10.0% | 6.8% |
| まあそう思う | 16.7% | 12.9% | 14.2% | 17.1% | 19.0% | 22.0% | 11.3% |
| どちらかといえばそう思う | 21.0% | 19.0% | 18.5% | 21.1% | 25.3% | 22.6% | 19.6% |
| あまりそう思わない | 43.2% | 49.8% | 46.7% | 40.1% | 38.8% | 36.5% | 52.5% |
| まったく思わない | 10.0% | 10.1% | 11.3% | 10.3% | 9.9% | 8.9% | 9.7% |

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に対する興味・関心を高めるきっかけ

質問7 職人の仕事に対するあなた自身の興味・関心が高まるとしたら、どのようなことがきっかけになると思いますか。
あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

- 質問1 - 2で過半数（55.4%）の若者が、「職人」の商品・サービスを利用して（5ページグラフ1 - 2 - ①参照）、興味・関心が高まるきっかけとして「職人の商品・サービスを実際に利用する」と回答した若者が49.6%で最も多い。
- 質問5 - 3で過半数（51.7%）の若者が、後継者不足の理由として「職人になる方法がわからない、なるまでが大変そう」と回答した一方で（32ページグラフ5 - 3 - ①参照）、興味・関心を高めるきっかけとして「職人になる方法についての詳しい情報を知る」（19.3%）「訓練（学校等）についての詳しい情報を知る」（13.1%）と回答した若者は比較的少ない。
- 年代別では、高い年代ほど「収入や休暇など、働きやすい労働条件についての詳しい情報を知る」「仕事の実態についての詳しい情報を知ることが出来る」と回答した割合が高い傾向があり、低い年代ほど「実際に体験する（インターン、弟子入り体験など）」と回答した割合が高い。

グラフ7-①

| | 全体 n=4,110 | 15~18歳 n=1,245 | 19~23歳 n=674 | 24~29歳 n=701 | 30~34歳 n=609 | 35~39歳 n=881 | 高校 n=883 |
|---------------------------------------|---------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 職人の商品・サービスを実際に利用する | 49.6% | 51.7% | 49.3% | 47.2% | 49.9% | 48.4% | 52.1% |
| 実際に体験する（インターン、弟子入り体験など） | 38.1% | 39.8% | 38.9% | 37.9% | 37.4% | 35.8% | 42.2% |
| 仕事の魅力（やりがい）や価値（社会的意義、評価）についての詳しい情報を知る | 35.4% | 36.5% | 34.9% | 33.0% | 35.8% | 35.8% | 39.0% |
| 収入や休暇など、働きやすい労働条件についての詳しい情報を知る | 34.0% | 25.5% | 33.7% | 37.9% | 40.1% | 39.0% | 27.0% |
| 仕事の実態についての詳しい情報を知ることが出来る | 32.7% | 28.0% | 32.2% | 33.7% | 36.3% | 36.3% | 29.2% |
| 職人になる方法についての詳しい情報を知る | 19.3% | 14.1% | 20.3% | 20.4% | 20.2% | 24.4% | 13.8% |
| 職人の講話や実演に触れる機会 | 16.0% | 16.2% | 13.1% | 16.3% | 14.4% | 18.7% | 15.6% |
| 訓練（学校等）についての詳しい情報を知る | 13.1% | 9.8% | 12.5% | 15.3% | 14.8% | 15.6% | 7.7% |
| 職人のキャリアプランに関する情報を知る | 12.7% | 7.3% | 13.2% | 16.8% | 14.0% | 16.0% | 7.1% |
| その他 | 1.0% | 0.5% | 0.6% | 2.1% | 1.0% | 1.2% | 0.7% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に対する興味・関心を高めるきっかけ

質問7 職人の仕事に対するあなた自身の興味・関心が高まるとしたら、どのようなことがきっかけになると思いますか。
あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した若者に限定して比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。（必須）

- 年代によらず、「職人の商品・サービスを実際に利用する」「職人の講話や実演に触れる機会」と回答した割合が、全体の回答（37ページグラフ7-①参照）に比べて高い。特に、15～18歳及び高校では、「職人の商品・サービスを実際に利用する」と回答した割合が約6割と高い（58.2%及び60.0%）。

グラフ7-②

| 質問6で「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答 | 集計対象全体 n=1,062 | 15～18歳 n=263 | 19～23歳 n=158 | 24～29歳 n=200 | 30～34歳 n=159 | 35～39歳 n=282 | 高校 n=160 |
|---------------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 職人の商品・サービスを実際に利用する | 55.4% | 58.2% | 52.5% | 52.0% | 52.8% | 58.2% | 60.0% |
| 実際に体験する（インターン、弟子入り体験など） | 34.4% | 35.4% | 31.6% | 35.0% | 35.8% | 33.7% | 42.5% |
| 仕事の魅力（やりがい）や価値（社会的意義、評価）についての詳しい情報を知る | 33.6% | 31.9% | 34.8% | 29.0% | 33.3% | 37.9% | 36.3% |
| 収入や休暇など、働きやすい労働条件についての詳しい情報を知る | 22.8% | 14.4% | 20.9% | 23.5% | 34.0% | 24.8% | 15.0% |
| 仕事の実態についての詳しい情報を知ることが出来る | 34.1% | 29.7% | 26.6% | 30.5% | 39.6% | 41.8% | 28.1% |
| 職人になる方法についての詳しい情報を知る | 20.7% | 16.0% | 22.2% | 19.0% | 20.8% | 25.5% | 16.3% |
| 職人の講話や実演に触れる機会 | 18.6% | 19.0% | 15.8% | 19.5% | 17.6% | 19.9% | 17.5% |
| 訓練（学校等）についての詳しい情報を知る | 13.6% | 10.3% | 13.9% | 16.5% | 15.1% | 13.5% | 11.9% |
| 職人のキャリアプランに関する情報を知る | 10.6% | 8.7% | 10.1% | 10.5% | 11.9% | 12.1% | 10.0% |
| その他 | 1.1% | 0.0% | 0.0% | 4.5% | 0.6% | 0.7% | 0.6% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に対する興味・関心を高めるきっかけ

質問7 職人の仕事に対するあなた自身の興味・関心が高まるとしたら、どのようなことがきっかけになると思いますか。
あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

職人の成り手視点での比較：質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答した若者に限定した比較を実施

※質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いませんか。（必須）

- 年代によらず、「収入や休暇など、働きやすい労働条件についての詳しい情報を知る」「職人のキャリアプランに関する情報を知る」と回答した割合が、全体の回答（37ページグラフ7-①参照）に比べて高い。

グラフ7-③

| 質問6で「あまりそう思わない」「まったく思わない」と回答 | 集計対象全体 n=2,186 | 15~18歳 n=746 | 19~23歳 n=391 | 24~29歳 n=353 | 30~34歳 n=296 | 35~39歳 n=400 | 高校 n=550 |
|---------------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 職人の商品・サービスを実際に利用する | 44.5% | 46.8% | 47.6% | 39.4% | 48.0% | 39.3% | 47.1% |
| 実際に体験する（インターン、弟子入り体験など） | 39.6% | 41.6% | 40.4% | 40.2% | 36.8% | 36.8% | 43.3% |
| 仕事の魅力（やりがい）や価値（社会的意義、評価）についての詳しい情報を知る | 35.1% | 38.2% | 32.2% | 34.6% | 34.1% | 33.5% | 39.5% |
| 収入や休暇など、働きやすい労働条件についての詳しい情報を知る | 40.1% | 30.6% | 38.1% | 46.7% | 47.6% | 48.5% | 31.5% |
| 仕事の実態についての詳しい情報を知ることが出来る | 31.2% | 27.1% | 33.5% | 31.7% | 35.5% | 32.8% | 28.4% |
| 職人になる方法についての詳しい情報を知る | 17.8% | 13.0% | 19.4% | 18.4% | 19.9% | 23.3% | 12.7% |
| 職人の講話や実演に触れる機会 | 14.1% | 14.2% | 11.0% | 13.6% | 12.5% | 18.8% | 14.0% |
| 訓練（学校等）についての詳しい情報を知る | 12.4% | 9.2% | 11.0% | 14.7% | 14.9% | 15.5% | 6.0% |
| 職人のキャリアプランに関する情報を知る | 13.9% | 7.4% | 15.1% | 20.4% | 15.9% | 17.8% | 6.7% |
| その他 | 1.1% | 0.5% | 1.0% | 1.1% | 1.0% | 2.0% | 0.7% |

項目は全体の大きい順でソート

全体より5ポイント以上高いもの

全体より5ポイント以上低いもの

「職人」の仕事に対する興味・関心を高めるきっかけ

質問7 職人の仕事に対するあなた自身の興味・関心が高まるとしたら、どのようなことがきっかけになると思いますか。
あなたの考えをお答えください。（3つまで）（必須）

回答者：全員

「その他」のコメント（抜粋）※一部要約・意識しています。

- テレビで特集されていた時など
- 再定義が必要 私自身は技能職の家系ですが、現代的な創造的でかつ割のいい仕事とは紐付かなかった。営業的な仕事をコミュニケーションの職人と捉えることで、うまくワークするようになりました
- 待遇が改善されたら
- 縦社会や私生活にも介入されそうで、魅力を感じない。ワークライフバランスがとれないイメージ
- ジェンダー平等に関して悪いイメージがあるが、改善されたら女性が参入するハードルが下がると思う
- 社会における需要の拡大。人工知能やITといった現在そして将来的に目覚ましい発展を遂げる分野との密接な関連による需要が発生した場合
- 師匠が怖いというイメージがあるため、それがなくなったら
- 職人の仕事を助ける仕組みを作る(PR代行、金銭管理サポート、コンサル)
- YouTubeで発信してもらえたらやりたいと思ったりするかもしれません
- 自分の趣味で職人になる道があることを知る
- 若手世代がこれからの職人のあり方、社会への向かい合い方、偏見の払拭を含めメディアなどへの露出を増やすといいと思う。実際に私の友人の大工はYouTubeなどを積極的に利用して情報を発信している
- もっとやりたくなるような職場環境にすべき
- プライド、伝統に固執した古い職人が考えを改める必要がある
- ゲーミングチェアの職人があるなら興味を持つかも
- 理想は、一般企業と似た新卒入社・人材採用のシステムを確立し、転職者も含めて就業しやすくする。究極は、学校教育・就業支援・メディア・社会全体で誘導し、職人を職業選択の第一の選択肢にする
- 今興味を持っている職業への興味が薄れたら

調査票

【会場回答用】技能職に関する若者意識調査

事前質問1 あなたの年代を教えてください。(回答日時点) **必須**

1. 15～18歳
2. 19～23歳
3. 24～29歳
4. 30～34歳
5. 35～39歳

事前質問2 あなたのお住まいについて教えてください。 **必須**

1. 横浜市内在住
2. その他(横浜市外)

質問1-1 「技能職」と呼ばれる職種には、「職人」が手仕事・手作業で行う職のことが含まれることを知っていますか。 **必須**

1. 知っている
2. 知らない

質問1-2 あなたは日常において、「職人」の商品・サービスを利用することはありますか。 **必須**

1. 頻繁にある
2. 時々ある
3. あまりない
4. まったくない

質問1-3 質問1-2で1～2と回答した方のみ回答。どのような商品・サービスを利用することがありますか。(複数回答可)

1. 建築関連(建築士、大工、管工事、屋根、型枠、左官、薦職人、表装、内装、浴槽設備、畳職人など)
2. 鍼灸、マッサージ師
3. 工芸美術家(花卉装飾、陶磁器絵付師、漆器工芸師など)
4. 写真師
5. 理容師、美容師
6. クリーニング師
7. 調理人(料理人、菓子職人など)
8. 植木職、造園師
9. 鋳物等製造(釜師、板金など)
10. 石工
11. 食料品製造(ハム、ソーセージ、豆腐など)
12. 服飾製作等(和裁、洋服、帯仕立て、染織、靴製造・修理など)
13. 家具・建具職人・和竿師・竹細工
14. 版画摺り師、スクリーン・デジタル印刷、広告美術
15. 製品製造・加工処理等(塗装、木工塗装士、ステンドグラス、印章彫刻士、表具師など)
16. その他

「16. その他」と回答した場合は記入してください。

質問2 あなたが「職人」と聞いて、イメージすることを選択してください。(3つまで) **必須**

1. 伝統的
2. 商品・サービスの質が良い
3. 修業が必要
4. 器用
5. 高齢化が進んでいる
6. 労働環境が厳しい
7. 収入が不安定
8. アナログ
9. かっこいい
10. その他

「10. その他」と回答した場合は記入してください。

質問3-1 あなたは商品やサービスを選ぶとき、職人が提供する商品・サービスを選びたいと思いますか。 **必須**

1. とてもそう思う
2. まあそう思う
3. どちらかといえばそう思う
4. あまりそう思わない
5. まったく思わない

質問3-2 質問3-1で1～3と回答した方のみ回答。具体的な理由をお聞かせください。(3つまで)

1. 品質が良さそう
2. 長い期間使えそう
3. 希少価値が高そう・一点ものだから
4. 安い物やサービス(大量生産品等)より良いと思う
5. 手のぬくもりを感じる
6. 環境に優しい
7. アナログ
8. かっこいい
9. 職人の顔が見える
10. その他

「10. その他」と回答した場合は記入してください。

質問3-3 質問3-1で4～5と回答した方のみ回答。具体的な理由をお聞かせください。(3つまで)

1. 品質にバラつきがありそう
2. 長い期間使えなそう
3. 金額が高い
4. 安い物やサービスで代用できる
5. 時代に合わない
6. 自分自身が物・サービスに対するこだわりがない
7. 同様の物やサービスをインターネットで購入できるから
8. 壊れても修理が出来ない
9. 対面で購入するのが煩わしい
10. その他

「10. その他」と回答した場合は記入してください。

質問4 あなたが職業を選択する(した)とき、重視する(した)事柄を教えてください。(3つまで) **必須**

1. 好きなことを仕事にしたい
2. やりがいを感じたい
3. 社会に貢献したい
4. 良好な人間関係
5. 創造的な仕事である
6. 自分の知識や専門性を活かしたい
7. 給料が高い
8. 休みが多い・取りやすい
9. 職住近接(家と職場が近い)
10. その他

「10. その他」と回答した場合は記入してください。

質問5-1 あなたは職人の仕事に魅力を感じますか。 **必須**

1. そう思う
2. まあそう思う
3. どちらかといえばそう思う
4. あまりそう思わない
5. まったく思わない

質問5-2 質問5-1で1～3と回答した方のみ回答。職人の仕事について、魅力だと感じる理由を教えてください。(3つまで)

1. 「手に職」がつけられる
2. 技術が優れている
3. 伝統を継承する仕事だ
4. 国内外からの高い評価
5. 長期間使える物・サービスを提供している
6. 創造的な仕事だ
7. 自らが納得のいく仕事ができる
8. 唯一無二の商品やサービスを提供できる
9. かっこいい
10. その他

「10. その他」と回答した場合は記入してください。

質問5-3 技能職(職人)の多くの業種では、後継者不足が課題となっています。

それはなぜだと思いますか。あなたの考えをお答えください。(3つまで) **必須**

1. 職業の認知度
2. 職人になる方法がわからない、なるまでが大変そう
3. 仕事内容が厳しそう
4. 体力的に大変そう
5. 休みが少なそう、取りにくそう
6. 収入が不安定そう
7. 職人仕事のニーズが減っている
8. 職人仕事への興味が無い
9. 職人になるメリットを感じない
10. その他

「10. その他」と回答した場合は記入してください。

質問6 職人の仕事をあなた自身の職業として選択したいと思いますか。 **必須**

1. とてもそう思う
2. まあそう思う
3. どちらかといえばそう思う
4. あまりそう思わない
5. まったく思わない

質問7 職人の仕事に対するあなた自身の興味・関心が高まるとしたら、どのようなことがきっかけになるとと思いますか。あなたの考えをお答えください。(3つまで) **必須**

1. 職人の商品・サービスを実際に利用する
2. 仕事の実態についての詳しい情報を知ることが出来る
3. 仕事の魅力(やりがい)や価値(社会的意義、評価)についての詳しい情報を知る
4. 職人の講話や実演に触れる機会
5. 実際に体験する(インターン、弟子入り体験など)
6. 職人になる方法についての詳しい情報を知る
7. 訓練(学校等)についての詳しい情報を知る
8. 収入や休暇など、働きやすい労働条件についての詳しい情報を知る
9. 職人のキャリアプランに関する情報を知る
10. その他

「10. その他」と回答した場合は記入してください。